

県南広域振興局長

提出者 クリーンセンター花泉有限会社  
 住所 〒029-3104  
 岩手県一関市花泉町日形字日形山2番地1  
 氏名 代表取締役 佐藤 由佳

(法人にあつては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	クリーンセンター花泉有限会社	*整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県一関市花泉町日形字日形山2番地1	*受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	35 kl	*施設番号	
自動車の使用台数	54 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
花泉本社	岩手県一関市花泉町日形字日形山2番地1	5 kl
江刺営業所	岩手県奥州市江刺玉里柳沢70	31 kl

備考1 \*印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載する
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別紙「別添録」一覧を作成の上、添付してください。



別紙 その1 (工場又は事業者用)

1 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	( 2024 )年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化 炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量			販売したエネルギー使用量						
	数値	単位	熱量(GJ)	数値	単位	熱量(GJ)				
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)	0.05	kL	3		kL	3	0.2	0.1	0.1	
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油	8.68	kL	317		kL	317	22	13	9	
軽油	50.20	kL	1,907		kL	1,907	131	194	-63	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス	0.07	t	3		t	3	0.20	0.21	-0.03	
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
石炭	輸入原料炭	t			t					
	原料炭	コークス用原料炭	t		t					
		吹込用原料炭	t		t					
	一般炭	輸入一般炭	t		t					
		国産一般炭	t		t					
		輸入無煙炭	t		t					
	石炭コークス	t			t					
コークス	t			t						
コークス炉ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
高炉ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
発電用高炉ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
転炉ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
都市ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
その他の燃料	{ }			{ }						
{ }										
{ }										
黒液	t			t						
木材	t		111.45	t	1,471	-1,471				
A質廃材	t			t						
バイオエタノール	kL			kL						
バイオディーゼル	kL			kL						
バイオガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
その他バイオマス	t			t						
RDF	t			GJ/t						
RPF	t			GJ/t						
廃タイヤ	t			GJ/t						
廃プラスチック(一般廃棄物)	t			GJ/t						
廃プラスチック(産業廃棄物)	t		34.16	GJ/t	1,001	-1,001	-88	-254	166	
廃油	kL			GJ/kL						
廃棄物ガス	千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>						
混合廃材	t			t						
水素	t			t						
アンモニア	t			t						
その他燃料	{ }			{ }						
小計①						-192	66	-47	113	
産業用蒸気	GJ			GJ						
産業用以外の蒸気	GJ			GJ						
温水	GJ			GJ						
冷水	GJ			GJ						
地熱	GJ			GJ						
温泉熱	GJ			GJ						
太陽熱	GJ			GJ						
雪氷熱	GJ			GJ						
小計②										
電気事業者①	40.75	千kWh	360	千kWh		350	21	19	2	
電気事業者② ※複数契約している場合使用		千kWh		千kWh						
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh		千kWh						
太陽光	22.69	千kWh	82	千kWh		82				
水力		千kWh		千kWh						
風力		千kWh		千kWh						
その他		千kWh		千kWh						
小計③						434	21	19	2	
合計④=①+②+③						192	87	-25	114	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	5	kL
--------------	---	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量	
二酸化炭素の排出量	エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	87 t-CO <sub>2</sub>
	上記以外の二酸化炭素	t-CO <sub>2</sub>
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
六フッ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>	
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>	
合計	87 t-CO <sub>2</sub>	

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

別紙 その1 (工場又は事業者用)

i 温室効果ガスの排出状況

(1) エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類	(2024)年度						E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	前年度二酸化炭素 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	対前年度比二酸化 炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )
	エネルギーの使用量		販売したエネルギー使用量		E=B-D	二酸化炭素排出量 (t-CO <sub>2</sub> )				
	数値 A	単位 B	数値 C	単位 D						
原油(コンデンセートを除く)		kL			kL					
原油のうちコンデンセート(NGL)		kL			kL					
揮発油(ガソリン)		kL			kL					
ナフサ		kL			kL					
ジェット燃料		kL			kL					
灯油		kL			kL					
軽油	22.86	kL			kL	869	60	60	0.14	
A重油		kL			kL					
B・C重油		kL			kL					
石油アスファルト		t			t					
石油コークス		t			t					
石油ガス		t			t					
液化石油ガス(LPG)		t			t					
石油系炭化水素ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
液化天然ガス(LNG)		t			t					
その他可燃性天然ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
石炭		t			t					
原料炭		t			t					
コークス用原料炭		t			t					
吹込用原料炭		t			t					
一般炭		t			t					
国産一般炭		t			t					
輸入無煙炭		t			t					
石炭コークス		t			t					
コールタール		t			t					
コークス炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
発電用高炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
転炉ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
都市ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他の燃料										
小計①						869	60	60	0	
非化石燃料										
木質		t			t					
木質廃材		t			t					
バイオエタノール		kL			kL					
バイオディーゼーゼル		kL			kL					
バイオガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
その他バイオマス		t			t					
HDF		t			t					
RPF		t			t					
廃タイヤ		t			t					
廃プラスチック(一般廃棄物)		t			t					
廃プラスチック(産業廃棄物)		t			t					
廃油		kL			kL					
廃棄物ガス		千m <sup>3</sup>			千m <sup>3</sup>					
混合廃材		t			t					
水素		t			t					
アンモニア		t			t					
その他燃料										
小計②										
熱										
産業用蒸気		GJ			GJ					
産業用以外の蒸気		GJ			GJ					
温水		GJ			GJ					
冷水		GJ			GJ					
地熱		GJ			GJ					
温泉熱		GJ			GJ					
太陽熱		GJ			GJ					
雪氷熱		GJ			GJ					
小計③										
電気										
電気事業者①	36.45	千kWh			千kWh	315	15	11	4	
電気事業者② ※種数契約している場合使用		千kWh			千kWh					
自己託送(非燃料由来を除く)		千kWh			千kWh					
自家発電		千kWh			千kWh					
太陽光		千kWh			千kWh					
水力		千kWh			千kWh					
風力		千kWh			千kWh					
その他		千kWh			千kWh					
小計④						315	15	11	4	
合計 ①+②+③+④						1,184	75	71	4	

(2) 原油換算エネルギー使用量=(1)のエネルギー合計使用量×0.0258

原油換算エネルギー使用量	31	kL
--------------	----	----

(3) 温室効果ガスの総排出量

区分	温室効果ガスの排出量
二酸化炭素の排出量	
エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	75 t-CO <sub>2</sub>
上記以外の二酸化炭素	
メタンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
一酸化二窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
ハイドロフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
パーフルオロカーボンの排出量	t-CO <sub>2</sub>
六ふっ化硫黄の排出量	t-CO <sub>2</sub>
三ふっ化窒素の排出量	t-CO <sub>2</sub>
合計	75 t-CO <sub>2</sub>

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通産省令第74号)第4条の方法により換算してください。  
 2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。  
 3 エネルギーの使用量の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

## 別紙 その2

### 1 地球温暖化対策計画の達成状況

#### 【目標値の達成状況(進捗状況)】

2023年度炭酸ガス排出量目標 1.150 t-CO<sub>2</sub>/ (百万円・年)を基準として、2024年以降の炭酸ガス排出量を、毎年 0.5 %削減を目標にします。

2024年度の炭酸ガス排出目標(車両)1.144 t-CO<sub>2</sub>/ (百万円・年)に対して、2024年度の炭酸ガス排出量実績(車両)は、0.888 t-CO<sub>2</sub>/ (百万円・年)と目標達成となりました。

また排出総量も2023年度の893.0 tから2024年度は757.3 tと削減することが出来ました。

#### 【具体的な取組状況】

##### ○省エネルギー

###### ① 軽油

- 1) タコグラフの運用による、作業の効率化と燃費向上。(継続)
- 2) 車両管理システムの導入による安全運転診断。(急発進、急加速の抑制、2023年度導入)
- 3) 高年式の車両、重機の入替えによる燃費の向上。(継続3台廃車、4台増車)
- 4) 車両、重機の定期メンテナンスの実施(継続)

###### ② 電気

- 5) 事務機器の省電力化(国際エネルギースタープログラム等の省エネルギー製品の購入。継続)
- 6) 冷暖房機器の高効率化(入替え)による消費電力の削減。(省エネ診断実施済み。見積もり依頼中)
- 7) 花泉本社へ街灯(LEDソーラーライト)の設置。(追加設置)
- 8) 通路、倉庫にLEDセンサーライトを設置。(消し忘れによる電力消費を削減)

###### ③ LPG

- 9) オール電化による使用量削減(江刺営業所、実施済)

###### ④ 灯油

- 10) サーキュレーター、セパレーター、断熱フィルムの使用による室内の高断熱化(実施済)

##### ○再生可能エネルギー(再エネ設備導入、再エネ由来電力の調達)

- 1) 太陽光発電の実施(江刺発電所、花泉本社、継続)
- 2) 蓄電池の購入(購入電力の削減及びBCP対策、見積もり依頼中)
- 3) 場内駐車場照明としてLEDソーラーライトを設置。(継続)

##### ○自動車利用抑制

- 1) HV,PHV車の優先利用(営業車3台はHV,PHV車に入替え済み)

##### ○輸送の合理化

- 1) 中型トラック、セミトレーラの導入による輸送効率の向上。(導入済み)
- 2) 低燃費車、低公害車両の優先利用と業務に適した車両の利用(継続)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

- 1) インボイス対応及び紙の使用量削減の為、書類の電子データ化を行う。(実施中)
- 2) 電子契約書への移行による紙資源と郵便による輸送の削減。(省資源化)
- 3) 複数のモニターの使用による電子書類への対応。(紙の不使用、省スペース化)
- 4) PCモニターの更新(バックライトを蛍光灯からLEDタイプへの変更、随時)
- 5) 電話交換機の更新済み。(省電力タイプ)
- 6) 省電力タイプPCの導入(SoCをスナップドラゴンにすることで、消費電力を40%削減)

別紙 その3 (自動車用)

1 二酸化炭素の排出の状況

自動車関係の二酸化炭素排出量 (2024年度)

燃料別	自動車		二酸化炭素の排出		燃料使用量対前年度比(%)
	保有台数	燃料使用量 (A)	排出係数 (B)	排出量 (A×B)	
ガソリン	5 ( 5 )	5,117 ℓ	2.29 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	11,719 kg-CO <sub>2</sub>	94.6
軽油	49 ( 0 )	282,673 ℓ	2.62 kg-CO <sub>2</sub> /ℓ	740,453 kg-CO <sub>2</sub>	84.3
LPG	( )	kg	2.99 kg-CO <sub>2</sub> /kg	kg-CO <sub>2</sub>	
電気		kWh	0.477 kg-CO <sub>2</sub> /kWh	kg-CO <sub>2</sub>	
その他	( )		kg-CO <sub>2</sub> /( )	kg-CO <sub>2</sub>	
合計	54 ( 5 )			752,171 kg-CO <sub>2</sub>	

備考1 保有台数欄の ( ) には、ハイブリッド車の台数 (内数) を記載してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

達成目標

1.144 t-CO<sub>2</sub>/(百万円・年)(令和6年度)、1.139 t-CO<sub>2</sub>/(百万円・年)(令和7年度)、  
1.133 t-CO<sub>2</sub>/(百万円・年)(令和8年度)

※2023年度炭酸ガス排出量 1.150 t-CO<sub>2</sub>/(百万円・年)(車両)に対して毎年 0.5 %削減。

結果

令和6年度 0.886 tCO<sub>2</sub>/(百万円・年) (達成率 128.8 %)

【具体的な取組状況】

○エコドライブ

- 1) タコグラフの運用による、作業の効率化と燃費向上。
- 2) 車両管理システムによる安全運転診断。(急発進、急加速の抑制)
- 3) 高年式の車両の入替えによる燃費の向上。

○輸送の合理化

- 1) 車両管理システムによる運行ルートの見直し。
- 2) 中型トラック、セミトレーラの導入による輸送効率の向上。
- 3) 低燃費車、低公害車両の優先利用と業務に適した車両の利用。

○電動車

- 1) HV,PHV車の優先利用。(営業車は全てHV,PHVに切換え済み。)

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策に関する事項

- 1) 移動式汚泥造粒固化処理機による汚泥処理(建設汚泥の再生利用により路床材を製造・販売)  
⇒山砂等の採掘による山林資源枯渇の防止。
- 2) 車両の定期メンテナンスの実施による稼働率の向上と燃費向上。
- 3) 車両の下回りの洗車に湧水を使用する。(江刺営業所)